



人権ってなんだろう

11月28日にユニセフ出前授業として、親善大使である高須幸雄さんの講話とワークショップが行われました。高須さんは長く外交官を務められ、国連事務局で事務次長を歴任し、現在はNPO法人「人間の安全保障」フォーラム理事長、日本ユニセフ協会副会長など様々な活動に活躍されています。今回は「子どもの権利条約」を中心に、子どもたちの人権について考える機会をいただきました。この出前授業は、力合中学校区の小中一貫教育の一つとして、力合小、力合中でも同じよう開催されています。2小で6年生が参加し中学校では1年生が参加しました。同じ校区で学びを共有する機会となりました。



人権集会

12月1日は人権集会を行いました。この日は、熊本市の幼小中連携の日の取り組みに合わせて実施しました。力合中、力合小、近隣の幼稚園・保育園から先生方に来てもらい、子どもたちの活動の様子を参観した後、情報交換会を行いました。



6年生の有志によって人権集会は進行されました。はじめの言葉で、今回の人権集会のめあてやどんな活動を行うのかをととても分かりやすく説明してくれました。その後、人権についても説明してくれましたが、1年生にとっても理解できるように、丁寧に話を進めていきました。自分から希望して担当になったということですが、さすが6年生ですね。本当に頼もしく感じました。

今回の集会では、1、3、6年生と2、4、5年生がグループになるように編制しました。自己紹介の後、簡単なゲームを行い、人権マップを使って、「気になるところ」や「やさしいところ」を考えました。それぞれのグループを5年生、6年生が上手にリードして下級生の意見をまとめていきました。「おじいさんの荷物を運ぶのを手伝っているところ」「公園でいじめている人がいる」など、自分たちの気づきを発表してくれました。



マップの絵を参考にして、これから自分が頑張ることを考えました。「一人ひとりが人権を意識する」など最後の発表はたくさんの手が挙がり子どもたちの意欲が伝わりました。自分も周りの人も大切に方法を考えることが大きなテーマでしたが、低学年の意見を一生懸命にまとめようとする高学年の姿に、人を大切にしようとする気持ちが表れていたように感じます。全学年の子どもたちのいいところが見えた時間でした。